

別表（第3条関係）

区 分	構 造	節湯効果
手元止水機構	<p>台所水栓及び浴室シャワー水栓において、次の条件に適合する湯水混合水栓</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>吐水切替機能、流量及び温度の調節機能と独立して、使用者の操作範囲内に設けられたボタンやセンサーなどのスイッチで吐水及び止水操作ができる機構を有すること。</li> </ul>	<p>台所水栓：9%削減 浴室シャワー水栓：20%削減</p>
小流量吐水機構	<p>浴室シャワー水栓において、吐水力が次の条件に適合する湯水混合水栓</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>流水中に空気を混入させる構造を持たないもの：0.60（単位N）以上</li> <li>流水中に空気を混入させる構造を持つもの：0.55（単位N）以上</li> </ul>	<p>浴室シャワー水栓：15%削減</p>
水優先吐水機構	<p>台所水栓及び洗面水栓において、次のいずれかの条件に適合する湯水混合水栓（水栓又は取扱説明書等により水栓の正面位置が判断できるもの限る。）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>吐水止水操作部と一体の温度調節を行うレバーハンドルが水栓の正面に位置するときに湯が吐出されない構造を有すること。</li> <li>吐水止水操作部と一体の温度調整を行うレバーハンドルが水栓の胴の左右側面に位置する場合は、温度調節を行う回転軸が水平で、かつレバーハンドルが水平から上方45度に位置するときに湯が吐出されない構造、又は湯水の吐水止水操作部と独立して水専用の吐水止水操作部が設けられていること。</li> </ul>	<p>台所水栓：7%削減 洗面水栓：7%削減</p>
手元止水機構及び小流量吐水機構の複合	-	<p>浴室シャワー水栓：32%削減</p>
手元止水機構及び水優先吐水機構の複合	-	<p>台所水栓：15%削減</p>

※節湯効果の削減率は、従来の水栓に対しての削減率。（台所・洗面水栓は従来型の吐水量を6ℓ/分、浴室シャワー水栓は従来型を10ℓ/分として計算）